

# イトヨ便り

大槌地域 支援員新聞

No. 11  
2013.

## 6月号

【発行】大槌町地域支援員配置事業  
〒028-1115 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-6  
TEL : 0193-41-2780  
E-Mail : otsch.info@gmail.com



◀ (左上) いっぱい歌っていっぱい食べて、大盛り上がり！  
▶ (左下) 中丸さん、伴奏ありがとう！ (右下) 団地内は花盛り

5月2日、自治会チャレンジを利用した「親睦お花見会」が大槌（まさない）仮設の談話室で開催されました。自治会チャレンジとは北上市が行う仮設住民に対するコミュニティ支援策の一つで、自治会へ活動資金のサポートをし、その活動が活発になることを目的とする事業です。昨年に引き続き今年度も行われることになりました。

### 大槌仮設団地

## 自治会チャレンジ利用 親睦お花見会開催

### 談話室に住民さんの花満開！

季節を感じながらの親睦会を開きました。

当日はカリタスジャパンさんの協力をいただき、横浜からきたボランティアの方が『くつろぎコンサート』と銘打って住民さんの歌にサックスで伴奏をしてくれました。

談話室には26名の住民さんが集まり熱気でいっぱいです。1曲目は『北国の春』。最初からみんな大盛り上がりです。2曲目は、「今日は寒いけど八十八夜だよ」という住民さんの声で『茶摘』を歌いました。秋



### あの人に インタビュー

## 笑顔いっぱいの町へ ～グラウンドからの復興～

大槌にグラウンドを作ろう実行委員会  
田中 正道 (たなか まさみち) さん



子どもたちが思い切り走り回れる、みんなが遊べる、寝転がれるグラウンドを力を合わせて作りましょうという運動なんだよね。芝のグラウンドを二面作りたい。それにナイター設備や宿泊施設、スポーツショップなんかを併設して。おとしの10月から始めて、町内の人やジュビロ磐田、フロンターレ川崎のサポーターも一生懸命署

なあと思っています。震災直後に寺野の球場に物資テントが出来て、子ども達はその横でもそばそ練習してた。せめてとこなのうれしそにボール蹴ってんだよね。そんな中、招待試合が盛岡で

あつて：プレイが小さいんですよ。せめてとこでの練習がそのまま出でしまって、それ見て悲しげなでやんねえどなあと思っています。住むところもまだなのについて思う人もいると思うけど、まずは声上げねえど。どうやったら大槌に人が来てけっか考えで。交流人口の多さがこれからの大槌を作ってぐと思っただよね。

「大槌にグラウンドを作ろう」という運動をご存知でしょうか？この運動の中心となって活動している田中正道さんに会いに町方ドームへ行ってきました。

今の子ども達が大人になるぐらいに、やっとなんとした町になるはず。子ども達にはスポーツを通じて、まあ学校もそうなんだけど、他人を思いやる気持ちとか、もちろん感謝、あいさつや協調性なんかを身につけて、社会に出ても恥ずかしくなない人間になって欲しい。で、一緒に笑ってたいねえ。大人も子どももいろんな傷かきして前向いてる。みんな津波を生き延びた奇跡の人なんだ。楽しく笑顔で一つの町を作っていきたいね。笑顔あふれる大槌が一番。

田民謡の『ドンパン節』も手拍子しながら歌いました。「次来る時は、岩手の民謡もマスターしてきます」とサックスの方。ボランティアさんに「お花（桜）はもう終わったみたいですけどお花見ですか？」（笑）と聞かれると、男性支援員が談話室に来ていた女性陣を指差しながら「花は満開。両手どころか前にも後ろにもいっぱい」（笑）と答えていました。10曲歌ったところで「サ

ックスの方にも休んでもらって、仮設団地合唱団で歌のお返しすっぺし」と『花は咲く』と『大槌町民歌』を披露しました。毎日のラジオ体操のあとで歌っているの、声もそろいとても上手でした。14曲歌って『くつろぎコンサート』は終了。大きな声で歌ってお腹もすいた後は、みんなでお弁当をおいしくいただきました。桜は無くてもとても楽しいお花見会でした。



安渡地区

さとうかなえ  
佐藤加奈絵さん

### 「天城越え」熱唱したよ～



仮設は小槌ですが、ふるさとの安渡で理容店を営業しています。安渡で4月に行われた「IBC岩手放送カラオケ歌合戦」予選会で優勝し、マッサージ機を貰いました。北上のさくらホールでの決勝大会では惜しくも入賞を逃しましたが、住民のみなさんがバスで応援に駆けつけてくれたそうです。